### NPO法人 熊本まちなみトラスト

第4	0法人 熊本よりなみで、 15回理事会(200928)	/ハ   出欠表( 実績	漬)	
	氏名	理事会		委任
	7	200928	出席	
		出欠	人数	
1	青木勝士	O	/\%	/\34
	麻生田栄壽	$\sim$		
	伊藤重剛	$\stackrel{\smile}{\sim}$		
3		$\sim$		
-4	磯田桂史			
5	磯田節子	.,		
	岡裕二	×		
7		+ 25		
8	幸田亮一	×事務局長		
9	古賀輝			
10	西郷正浩	×理事長		
11	柴田祐			
12	竹田宏司	0		
13	田中尚人			
14	鄭 一止(いるじ)	0		
	辻 泰明			
16	豊永信博	O		
17	長野聖二			
10	西島真理子	×		
10	日本以一次 1000年111日   1000年111日   1000年111日   1000年111日   1000年11日   1000年11日	Ô		
19	富士川一裕			
20	松波大仁	00		
21		$\stackrel{\sim}{\sim}$		
22	宮野桂輔	<u> </u>		
23	<u> </u>	×理事長		
	山田穰	0		
1				
2	齊藤修			
会員	(コア会員)  上農淑子			
1	上農淑子			
	加瀬島正剛			
	古賀元也			
	坂口秀二	×		
	熊本商工会議所(坂井)			
	田中達俊	0		
	早川祐三			
	原野利一			
	平山武久			
<u> </u>	平山偵久			
	<u>市田原久</u> 両角光男			
	池田由美			
	小出史			
	田上裕			
	反後人美			
	松崎範子			
	西嶋公一			
	森 純子			
	吉田松花堂			
	古川保			
	清永泰弘			
	黒瀬商店			
	後藤環			
	東久美子			
	宮本茂史			
	藤本秀子			
$\vdash$	中田浩毅			
ı	1 円 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			
	1. 分,用,语 也			
	石原靖也 復興project(吉野海朗)			1
	復興project(吉野徹朗)			
	復興project(吉野徹朗) 西島衛治	×		
	復興project(吉野徹朗) 西島衛治 酒井伸二(熊本市)	×		
	復興project(吉野徹朗) 西島衛治 酒井伸二(熊本市) 村上亜紀(熊本市)			
	復興project(吉野徹朗) 西島衛治 酒井伸二(熊本市) 村上亜紀(熊本市) 石川琢也(熊本市)			
	復興project(吉野徹朗) 西島衛治 酒井伸二(熊本市) 村上亜紀(熊本市) 石川琢也(熊本市) 本田貴也(熊本市)			
	復興project(吉野徹朗) 西島衛治 酒井伸二(熊本市) 村上亜紀(熊本市) 石川琢也(熊本市) 本田貴也(熊本市) 中島淑子(PS)			
	復興project(吉野徹朗) 西島衛治 酒井伸二(熊本市) 村上亜紀(熊本市) 石川琢也(熊本市) 本田貴也(熊本市) 中島淑子(PS) 坂井亮太(カリーノ)			
	復興project(吉野徹朗) 西島衛治 酒井伸二(熊本市) 村上亜紀(熊本市) 石川琢也(熊本市) 本田貴也(熊本市) 中島淑子(PS) 坂井亮太(カリーノ)			
	復興project(吉野徹朗) 西島衛治 酒井伸二(熊本市) 村上亜紀(熊本市) 石川琢也(熊本市) 本田貴也(熊本市) 中島淑子(PS) 坂井亮太(カリーノ) 石橋雅子(熊本県)			
	復興project(吉野徹朗) 西島衛治 酒井伸二(熊本市) 村上亜紀(熊本市) 石川琢也(熊本市) 本田貴也(熊本市) 中島淑子(PS) 坂井亮太(カリーノ)			

- ◆議決事項(本日の検討事項)
- 1. 事務局から財政状況報告
- 2. 部会報告

P2.P3 1)財政部会 豊永部会長 P4~P7 ②歴まち部会 伊藤部会長 ③遺産ネット部会 青木部会事務局長 P8,P9

3. 人吉タスクフォース報告 P10.P11

P12 4. その他 事務局からの報告

◆前回(8/24)例会以降の経過

◇KMT事務局会議【冨士川·松波·菊池】 8/26, 9/2, 9/9, 9/16, 9/23 計5回

**◇財政部会【○**豊永·伊藤·田中·青木·□松波】

〇:部会長/口:事務局

9月10日

◇歴まち部会【○伊藤・鄭・竹田宏司・西島眞理子・古賀輝・豊永信博】

○:部会長/□:事務局→?

9月25日

□部会事務局を決めておきたい

◇遺産ネット部会【○磯田節子・宮野・三國・辻・□青木・山田】

〇:部会長/口:事務局

9月1日

口部会長が人吉で繁忙のため青木さん三國さん代行 9月15日

が必要か

### ◇人吉タスクフォース

8月22日 肥薩線緊急検討会→(事後)しばらくは様子を見るしかない・・・

9月4日 人吉市長へ要望書提出

9月20日 タスクフォース2: 人吉旅館(9人)

(第1回は7/19で12人・・・堤邸)

### ◆事務局からの報告

- ①WMFのCRF: 人吉旅館への応急支援 契約・即振込み(9/9)★
- ②お金をまわそう基金、ふるさと振興基金 不採択
- ③日本財団の豪雨災害復旧支援 採択(9/24メールで通知)★

④くまもとSDGs推進財団 不採択 (熊本災害基金<2020熊本水害支援>(第2次助成)助成金申請)

⑤J-Coin基金 助成申請:9/29締切 申請予定 みずほファイナンシャルグループ

新型コロナウィルス社会課題への対応

→平成28年熊本地震からの復旧工事完了施設のコロナ対策と 利活用促進(公演団体とのマッチング)

⑥広報誌VOL.03 編集作業中(11月1日発行予定)

・・・(本来は)広報誌編集委員会編成すべき→次号から

⑦HC財団交流会(ZOOM8/29)報告

(+委任状出席3=15>理事総数24×1/2

会員

合計出席者 14 事務局員1名を含む

### NPO法人熊本まちなみトラストに参加しませんか!(ご案内)

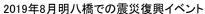
私たちNPO法人熊本まちなみトラストは、建築、都市計画、文化財保護、ジャーナリスト等の専門家を含むメンバーが集い、「記憶の継承」を理念に町並み保存や歴史的建造物の保存などを通して住民の皆様を支援する団体です。任意団体での長い活動を経て、平成28年熊本地震と令和2年7月豪雨で被災された所有者に寄り添い、歴史的建造物の復旧方法について相談に乗る一方で、熊本市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例のパブリックコメントに参加するなどの活動をしています。

私たちは重層的な人々の営みの歴史を現わす歴史ある建物や町並みや風景を、熊本の個性と捉え、この貴重な財産を市民の皆様と一緒に、今と未来の人々のために守り活かす活動を続けていきたいと考えています。このたびは、商工会議所様のご厚意で本誌の紙面を介して熊本の企業の皆様に法人会員参加の呼びかけをさせていただいておりますどうぞ、私たちの故郷をより良くしていく活動にご参加いただきますようお願い申し上げます。

NPO法人熊本まちなみトラスト 理事長 伊藤重剛

### 子どもたちによりよい環境と故郷の風景を提供したい!







2020年3月清永本店の震災復旧工事が竣工しました

### 私たちと一緒に考え、活動してみませんか

\*まずは事務局までお電話ください 096-326-6611(事務局:冨士川)

NPO法人熊本まちなみトラスト 〒860-0078 熊本市中央区京町 1-8-24 株式会社人間都市研究所 内



電話 096-326-6611 FAX096-326-6612 E-mail: info@kumamoto-machinami-trust.org

HP: kumamoto-machinami-trust.org

当日スケジュール

10 時半 会場設営

田中さん開場

机、椅子の配置。 椅子は 100 脚、机は 10 数脚カリーノで購入済み 後援者席を設営(自治協議会)

放送設備、パソコン2台、プロジェクタ2台、レーザポインタ2本 受付、配布資料 (チラシ、トラスト機関紙、)

消毒用アルコール、健康調査票

13 時 パネリスト事前打合せ・パワポ準備

※これより前に、イルジさんは電話等でプレゼンと議論の進め方について打合せ。 パワポデータは、あらかじめパソコンに入れておく。

演奏者との打合せ・確認、謝金支払い(演奏者2万円、伴奏者1万円)担当 伊藤

13 時半 開会 進行竹田

接拶 伊藤 簡単に建物の紹介、本日の会の趣旨、来賓紹介 (3校区自治協議会会長) 馬場社長

13 時 40 分 演奏開始

簡単に演奏者・伴奏者紹介(伊藤) 少し話を交えるので、マイクを準備 アンコールはなし。

14 時 10 分 酒井氏講演

会場準備

休憩·会場準備

14 時 40 分 パネル開始

机・椅子配置、マイク準備

イルジさんに司会交代

パワポ発表が長くならないよう注意し、討論の時間を確保する。

15 時 40 分 ディスカッション開始

フロアからの発言用マイク

16 時 40 分 討論終了

閉会 竹田

後片付け 戸締り 解散 打ち上げなし

### 役割分担

会場設営 伊藤、冨士川、松波、歴まち部会会員 机・椅子 田中、カリーノ職員2人が管理 正面奥の壁面に映写するよう配置。

椅子は演壇に向かって緩い円弧状に配置

パネルのときは、総合司会竹田、ファシリテータいるじ、パネリスト4人。机を配置 受付 菊池 チラシ、トラストパンフ、歴まち計画チラシ(酒井)等を準備 コロナ対策 竹田 (アルコールとマスクは冨士川、健康票は竹田が準備)

### プレゼン機器準備

パソコン2台: 冨士川、伊藤 プロジェクタ2台 伊藤 冨士川 実際に使用するのは1台として、1台は予備 レーザーポインター2本、イルジ、伊藤 いるじさんは、パネリストにパワポ発表とその時間、討論内容を事前に知らせる。 パネリストは、USBで会場まで持って来て、パソコンに入れる。

放送設備 松波 (オランジュリから)、田中 (カリーノから) マイクを最低 4 本準備する。 マイク用カバーをいるじさんが準備。

記録 報告書作成 三國、青木、辻 動画撮影 中田 写真撮影 \_\_\_\_\_ 広報 マスコミ・ブリーフィング 県担当:富士川 市担当:酒井

会場用ポスター A1サイズ2枚、いるじさん準備

会場案内板: 冨士川 トイレ、非常口の案内、司会・パネリスト等の名前はチラシで代替 チラシ: 70 枚

コーヒー店出店 珈琲回廊にいるじさん交渉。

### Press Release

配信者(連絡先):NPO 法人 熊本まちなみトラスト(略称 KMT) 理事長 伊藤重剛(いとうじゅうこう) 090-2084-3568 jukoito33@hotmail.com KMTの HP http://kumamoto-machinami-trust.org

- 1. イベント名 : 熊本の未来を語る-歴史まちづくりフォーラム
- 2. 日時:2020(令和2)年10月10日(土)13:30~16:30
- 3. 場所:カリーノ魚屋町ビル(旧住友銀行熊本支店社屋) 熊本市中央区魚屋町2丁目1
- 4. 主催者:NPO 法人 熊本まちなみトラスト、株式会社カリーノ
- 5. 後援者:一新校区自治協議会、五福校区自治協議会、川尻校区自治協議会
- 6. 参加予定者:上記3校区自治協議会関係者(10)、報道を見て電話等での申込者(15) KMT関係者(10)、カリーノ関係者(5)、熊本市関係者(5)・・・ 合計約50人 (コロナ感染予防の観点から入場者制限)

### 7. このイベントの趣旨

### ①背景:

平成 28 年熊本地震で熊本市内、新町・古町・川尻地区にある文化遺産が甚大な被害を受けた。熊本市は「歴史まちづくり計画」の国の認定を受け、これらの文化遺産の復旧を後押しするとともに、平常時も地区内にある文化遺産の顕彰、保存、意識の醸成を図ることにした。

②このイベントの位置づけ:

熊本市「歴史まちづくり計画」※のスタートを記念する。 ※「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」にもとづく

③このイベントの狙い:

「歴史まちづくり計画」を多くの人に知っていただく

### 6. 関連情報

- ①同上計画については熊本市HPのなかで「くまもと歴史まちづくり計画」で検索すると出ます
- ②コロナ対応で参加者を絞り、後日、KMTのHPで動画配信予定

### 7. お問合せ

- ①このイベントについて: 熊本まちなみトラスト(略称 KMT) 理事長 伊藤重剛(いとうじゅうこう)
- ②歴史まちづくり計画について: 熊本市景観開発課都市デザイン室長・酒井伸二(さかいしんじ)

# 化

挙げられている明治期の商家。清永本店「主屋。 熊本地震で被災し

くまもと歴史まちづくり計画」で歴史的風致形成建造物の候補に

今年3月に修復を終えた=熊本市中央区西唐人町

Culture

月、水、金、土曜日 掲載

ちづくり計画」と通称して いる旗本市の政策が、政府 くまもと歴史ま

ん(88)=熊本市=に寄稿してもらった。

スト理事長で熊本大名誉教授(建築史)の伊藤重剛さ

くまもと歴史まちづくり計画)には、熊本城周辺の城 下町の保存・<br />
活用などが盛り込まれている。<br />
策定され た計画の意義について、NPO法人熊本まちなみトラ

熊本市が策定した歴史的風致維持向上計画(通称・

内は山鹿市と湯前町が既に 各県で策定されている。県 づくもので、ほとんど全国 歴史まちづくり法」に基

に認定された。これは国の

# 「くまもと歴史まちづくり計画」に寄せて

### 古い建物 源泉 誇り 0

の保存活用、町並みの保存、

伝統文化の継承などに取り

史的風致として指定し、中 町並みとその祭礼行事を歴

でも新町、古町、川尻を重

点地区として、歴史的建築

る。熊本市ではこの計画に りをしようという政策であ 気を残した、良好な町づく 佇まいや地域独特の雰囲反映した生活、歴史的な

む、市内8地区の建築や

「くまもと歴史まちづくり 計画」について意見を交わす 「顔本の未来を語る~歴史ま ちづくリフォーラム」が10月 10日午後1時半~5時、熊本 市中央区魚屋町のカリーノ魚 屋町ビル(旧住友銀行熊本支 で開かれる。NPO法人

## 熊本市でフォーラム 来月10日

熊本まちなみトラストと株式 会社カリーノの主催

同法人が、同計画を市民に 広く知らせ、市民と行政の協 働によるまちづくりの先駆け とする狙いで企画した。同市 都市整備景観課の酒井伸二・ 都市デザイン室長が同計画を 概説。パネルディスカッショ で新町、古町、川尻の若手 まちづくリリーダーらが意見 を交わす。バイオリンなどの ニコンサートもある。入場 無料。同法人2096(326)6611。

保存せねばならないか。第 ある。世界でも第一級の熊 の誇りを醸成するからで にそれは、地域の歴史は なぜ古い建築や町並みを

組みながらまちづくりをし ていく方針である。

祭礼などが残り、熊本の町 降の近代建築、その生業、 世の城の遺跡、城下町を形 成する社寺や町屋、明治し 熊本もお城だけでなく、中 旋門まで蓄積されている。

りのある町が、人にとって ッフェル塔や20世紀の新凱 トルダム大聖堂、近代のエ 者が来るパリは、古代ロー 中から年間5千万人の旅行 魅力的だからである。世界 から現代まで歴史的な重な マの遺跡から、中世のノー 第二の理由は、古い時代

なぎ希望を育むために精い る。祖先がいて今の自分が や建築や都市計画の専門 っぱい協力していきたい つとして、まちの記憶をつ 欠であり、市民団体のひと けでなく市民の協力が不可 になった。それには行政だ す将来のまちづくりは明確 ちづくり計画で熊本が目指 町が営まれている。歴史主 くった基礎の上に私たちの あるように、町も先人がつ 市には必要だと痛感してい に経済性や利便性だけでな 受している。そんな中で今 れば日本は一応の繁栄を草 行政そして市民も、単 歴史的文化的激りが都

とを公にした。 た町づくりを行っていくこ がら熊本市も歴史を生かし 策定し、かなり遅ればせな この計画は歴史的建造物

らないのである。 建築や町並みを残さねばな の源泉で、それ故に歴史的 を物語る建物は市民の誇り つ。つまり町の歴史とそれ 痛みの感情を持ったであろ 熊本人はこの誇りが傷つき

や祭礼行事、歴史や伝統を

町屋群が取り壊され駐車場 になったのを見て、多くの れ、また新町・古町の古い る 禍にあっても、世界から<br />
思 経済が低成長でもコロナ

経済的にも有効なのであ 来の理由ではないにして も、文化的な都市の魅力は 測すからである。これは本 観光産業として町の経済を 力を持てば旅行者が増え、 第三に、町がこうした駄

で天守や石垣が無残に婉

NPO法人熊本まちなみトラスト理事長 伊藤 重剛 の誇りと愛郷心を育てる。 い感情だが、4年前の地震 日常ではほとんど意識しな に住んでいるという熊本人 本城とその城下町は、そこ

の魅力と品格を作り出して

# 被災文化遺産所有者等連絡協議会の解散と ファンクラブ設立のご提案

NPO法人熊本まちなみトラスト 理事長 伊藤 重剛

平成 28(2016)年熊本地震の後に、被災した皆様のご自宅や所有不動産を復興するために、被災文化遺産所有者等連絡協議会(以下「被連協」)を創設し、別紙の活動年表のとおり行政への要望をはじめ、情報の共有など助け合いの共同行動を行ってまいりました。

令和2年3月の清永本店の復興工事の完工をもって、被連協の当初の役割を無事に終える ことができました。

つきましては、昨秋にいただきました皆様のアンケートでのご回答に基づき、下記のとおり ご提案申し上げます。

記

### 1. 被連協の解散

規約により、新町古町地区 25 人と川尻地区 9 人の被連協の会員の皆様による総会での決議で被連協の解散の手続きを行います。

別添葉書の書面表決書に○を記入し、ご芳名を自署でご記入いただきご投函ください。

### 2. 新たな「歴史遺産ファンクラブ」の設立

それぞれの地域で受け継いできた有形・無形の遺産のファンを増やすとともに次世代に継承し、未来への希望をはぐくむことを目的に、所有者の皆様とファンが一緒に地域の遺産を「見つける・楽しむ・広める」活動を通じ、楽しく触れ合い、仲良く守っていく歴史遺産ファンクラブを創設します。

### ※活動のイメージ

- ・見学会やまち歩き、シンポジウムなど、所有者の皆様と地域の歴史遺産に思いを寄せる人 たち(店舗であれば来店されるお客様も含め)が一緒に地域の歴史遺産と触れ合う。
- ・悩みや喜びを共有し、地域をよくするための必要な行動を共同で行う。

### 3. 1と2の時期

令和3年(2021年)3月を予定しています。

# 地域遺産ファンクラブへの加入のご案内

NPO法人熊本まちなみトラスト 理事長 伊藤 重剛

私たちNPO法人熊本まちなみトラストは、建築、都市計画、文化財保護、ジャーナリスト等の専門家を含むメンバーが集い、「記憶の継承」を理念に町並み保存や歴史的建造物の保存などを通して住民の皆様を支援する団体です。任意団体での長い活動を経て、平成28年熊本地震と令和2年7月豪雨で被災された所有者に寄り添い、歴史的建造物の復旧方法について相談に乗る一方で、熊本市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例のパブリックコメントに参加するなどの活動をしています。

このたびは、それぞれの地域で受け継いできた有形・無形の遺産のファンを増やすとともに 次世代に継承し、未来への希望をはぐくむことを目的に、地域遺産ファンクラブを設立しまし たのでご案内申し上げます。

地域遺産ファンクラブは、地域の遺産を「見つける・楽しむ・広める」活動を通じ、地域の 歴史ある景観や景観を形作る建物などを、所有者の皆様と一緒に楽しく触れ合い、仲良く守っ ていきたいと考えています。

活動の幅を広げていくために、ぜひとも活動にご参加いただきますようお願いいたします。

記

- 1 団体名:地域遺産ファンクラブ
- 2 目的:地域の遺産のファンを増やすとともに次世代に継承し、未来への希望をはぐくむ
- 3 活動:地域の遺産を「見つける・楽しむ・広める」
- 4 活動イメージ
  - (1) 地域の遺産の所有者の皆様との交流会等を通じて連携を強め、必要に応じて一緒に考え、 行動する。
  - (2) 見学会やまち歩き、シンポジウムなど、地域の遺産に思いを寄せる人たちと一緒に遺産と触れ合い楽しむ機会を作る。
- 5 会費:年度会費は千円/人(ただし令和2年度のみ令和3年度末まで有効)。
  - ※会計と庶務等のお世話はNPO法人熊本まちなみトラストが担い、クラブ固有の特別会計をもって独立した会計にします。なお、予算及び支出は年度ごとの会計を報告します。
  - ※NPO法人熊本まちなみトラストの会員は会費支払いをもってクラブに加入することができます。

お問い合わせ先: NPO法人熊本まちなみトラスト(青木)blue.moon.19690116@gmail.com



HP: kumamoto-machinami-trust,org

### 人吉市長 松岡 隼人 様

提案者 NPO法人熊本まちなみトラスト 伊藤 重剛 理事長 提案に賛同します 鍛冶屋町通りの街なみ保存と活性化を計る会 会長 立山 茂 人吉温泉女将の会 「さくら会」 会長 有村 政代 田口 妙子 芳野旅館 女将 人吉旅館 女将 堀尾 里美 人吉球磨ヘリテージマネージャーの会 代表 久保田貴紀 岡田 保良 日本イコモス国内委員会 委員長 ワールド・モニュメント財団 稲垣 光彦 日本代表

# 人吉市中心市街地の復興に向けたまちづくりに関する要望書

本年7月4日の球磨川水系の氾濫によって人吉市をはじめ球磨郡各町村が甚大な被害を蒙られましたことに衷心よりお見舞い申しあげます。併せて、コロナ禍にあっても復旧に携わっておられる皆様に心から敬意を表します。

私たちNPO法人熊本まちなみトラストは、建築、都市計画、文化財保護、ジャーナリスト等の専門家を含むメンバーで、「記憶の継承」を理念に町並み保存や歴史的建造物の保存などを通して市民・県民の皆様を支援する団体です。任意団体での長い活動歴を経て、熊本地震での復興支援のためにNPO法人になりました。

このたび私たちは、人吉市の中心市街地の被災状況を調査するとともに国登録有形文化財の温泉旅館や木造公衆浴場などの地域を象徴する歴史ある建造物の技術的な復旧方法や応急措置について所有者に寄り添いながら相談に乗り、共に活動しています。

私たち熊本まちなみトラストの会員一同は、人吉球磨の森林文化圏の中で長期に亘り醸成されてきたかけがえのない文化遺産である人吉の街(中心市街地)をこよなく愛してやみません。甚大な被害を受けた市街地の復旧に当たっては、これまでの計画や事業を尊重しながら、「街のイメージ」が途切れないように一つ一つの事業に取組んでいただくことを切に希望いたします。

歴史的な建物だけではなく、人々の暮らしや自然との結びつき、祭礼や観光・交流にいたる街の個性が被災前より増して深まることを目指して取組まれることを「歴史を活かしたまちづくり」という短い言葉に集約し、次の2つのことを要望いたします。

- 1. 復興事業に「歴史を活かしたまちづくり」という目標を掲げて取り組んでいただきたい。
- 2. 復旧活動に携わる所有者や施工者等の関係者、市民に対し、「歴史を活かしたまちづくり」という目標を共有し、肯定し、応援していただきたい。

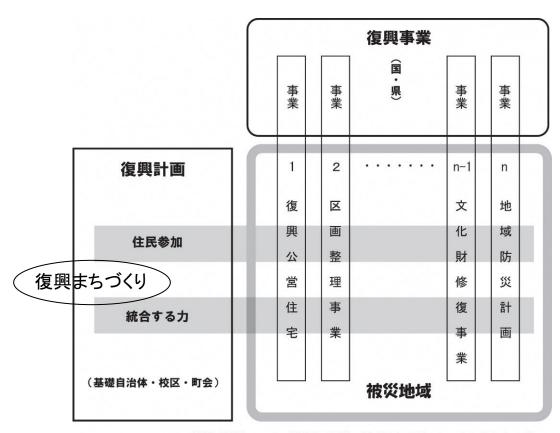
(別紙1)要望の理由: 1) 復旧事業が加速されるために 2) 被災前よりも街の個性が輝くために

大災害からの復旧には様々な制度が適用され、事業化されます。

下図(図1)は 2011 年東日本大震災での復旧過程の状況をまとめたものです。被災地には数多くの事業が投入されますが、将来の目標像が定まらないと復興に向けて関係者が力を合わせにくいために復旧事業が滞ります。さらに復興後、被災前と比べ個性のない街になってしまう恐れもあります。

このたびの 7 月豪雨での人吉市の復興では、復旧事業が加速されるとともに、復旧事業が復興後の個性あるまちづくりにつながり、かつ相乗効果を高めながら推進されることが望まれます。

復興計画は行政が住民の利益のために立案するものですが、市民や民間事業者が思い思いに描く復興計画も含めて「復興まちづくり」と呼ぶとすれば、『歴史を活かしたまちづくり』は、官民共に関わる皆様が共有するにふさわしい目標であると思われます。



被災地域住民の声:「個別の事業の説明はあるが、いったい私たちの地域は全体としてどのようになるのかが見えない」、「移転か残るかと聞かれても地域が将来どうなるのかがわからないので判断ができない」

復興計画が住民不在になっていないか。 復興計画の策定主体に、統合する力(努力)が欠けているのではないか

図1. 復興事業と復興計画(東日本大震災の後)

【参考】2016年熊本地震で、私たち熊本まちなみトラストは「熊本城は残っても城下町が消失するかもしれない」という危機感から「城下町の再生」を復興まちづくりの目標として共有しながら個別の復旧事業のお手伝いをしました。



### KMTタスクフォース人吉 2020 第2回 (第1回は 7.19)

2020年9月20日(日)7:30 @嘉島町役場駐車場集合/18:00 帰着・解散

参加者

伊藤班【〇伊藤重剛、木下皓一郎(熊本市都市デザイン室)、冨士川一裕】

青木班【〇青木勝士、三國隆昌】

森本班【〇森本次郎(一新まちづくりの会)、鄭一止、田島萌華(熊本県立大3年生)】

〇:班長・ドライバー

古賀輝は単独で現地集合

(以上9人)

熊本豪雨(7月4日)から3ヶ月以上が経った。この間9月4日には人吉市長に要望書を提出した。磯田節子理事は登録文化財の2旅館のアドバイザーとして支援を続けている。

今回伊藤理事長の呼びかけで7月19日以来、2回目の現地作業を行った。



### 【 8/29 HC 財団支援団体交流会報告 】

HC 財団からの助成金は 2019 年度のものであり、当初 2020 年 8 月 29 日に 2020 年度の助成団体を含めた交流会が企画されていたが、コロナ禍により Zoom 会議形式で行われた。KMT からは富士川事務局長と広報の松波が参加した。参加団体とその活動概要は配布資料を参照のこと。

財団評議員千葉大学名誉教授木下勇先生による基調講和に続き、各団体の活動内容、課題と対策の発表行われた。KMT の発表に関して、「災害直後の支援で最も重要なことは何か」という問いかけがあり、富士川事務局長が「現場で寄り添い続けることによって、支援してくれる団体があるということを感じてもらえること」という回答がなされた。

第二部では、①コミュニティにより地域の持続性と活力を育む取り組み、②歴史的建造物や地域資源の保存活用による地域づくり、③自然環境の整備・活用による地域づくり、の 3 つの部会に分かれてセッションが行われた。KMT は②に参加した。下記の3点が印象に残った。

- 1. 他の団体には特定の活動対象があって、比較的具体的、分かりやすい活動・イベントが行いやすいためもあるのか、若い世代の参画ができているようだった。
- 2. 比較的小規模の自治体では危機感も強いためか、自治体との協力関係もうまく構築できているようだった。
- 3. 女性が牽引役を担っているケースが多いようだった。

全体的には SDG's の考え方が浸透してきている印象があった。

### 【 2020 年助成金セミナーin 熊本 参加報告 】

9月11日13:30~16:00 に熊本市市民活動サポートセンター あいぽーと で開催されたセミナーに参加した。詳細は配布資料を参照のこと。

これまでに様々な助成金の仕組みに接する機会があったが、今回は下記の特徴がみられた。

- ① 今回は来期に向けたものであるからか、災害復興という応急的なものより、社会課題に長期的に向き合う市民 活動を支援しようという傾向のものが多い
- ② 特に子供や親が直面する課題を支援する動きが促進されている
- ③ 活動開始時と組織成長時に分けるなど、市民活動の育成の視点が強化されている

助成を受けた団体からの発表もあり、

- 1) 相変わらず女性の行動力と意欲が素晴らしい
- 2) 親のいない、親を頼れない子供の就業支援をシェアハウスを通じて行うという新しい試みがあった
- 3) どの団体もコロナ対策という社会環境への対応に苦慮している

という状況だった。

いくつか有望な制度が見つかったので、獲得に向けて取り組む。